
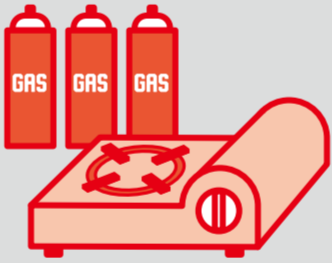


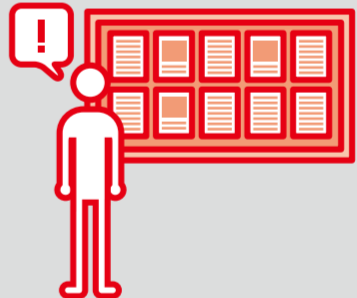
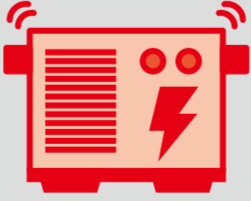

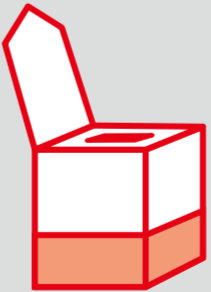




# 在宅での生活継続をイメージしよう

Imagining How to  
Sustain Yourself at Home



電気、ガス、水道、電話が使えなくなると、家の中ではどんなことが起こるのだろう。携帯トイレは一日いくつ使うのだろう。懐中電灯の明かりだけで何ができるだろう。在宅での生活を継続するためには、そのための備えが必要になる。いざというときに慌てないようイメージをしてみよう。

| 電気  | ガス   | 上水道  | 交通   | 情報  |
|---|--|--|--|---|
| 1週間   | 4~6週間  | 4~6週間  | 6日間  | 1~2週間   |
| <p>暑いときや寒いときはどうする？</p> <p>エアコンは使えない。体温調節を工夫する。</p>   | <p>料理はどうする？</p> <p>限られた燃料を節約して調理する。</p>           | <p>飲み水はどうする？</p> <p>水道は使えない。備蓄や給水所を活用する。</p>  | <p>救急車、消防車はどうなる？</p> <p>呼んでも来られない可能性がある。</p>        | <p>家族の安否はどう知る？</p> <p>避難所などに掲示板が設置される。</p>     |
| <p>オール電化の家はどうなる？</p> <p>家電が一切使えなくなる。発電機などを活用する。</p>  | <p>お風呂はどうする？</p> <p>しばらくは入れない。体をふくだけでも清潔になる。</p>  | <p>トイレはどうする？</p> <p>トイレは流せない。携帯トイレを使用する。</p>  | <p>支援物資はどうなる？</p> <p>ものが一切届かない可能性もある。備蓄品で乗り切る。</p>  | <p>電話はどうなる？</p> <p>避難所などに非常用特設公衆電話が設置される。</p>  |